

信号機のない横断歩道を、歩行者が渡ろうとしています。さて、あなたならどうしますか？わが国では歩行中の人を死亡させる事故が、主な欧米諸国に比べて多く、その原因の一つとしてドライバーが持つ、歩行者優先に対する意識の低さがあると思われます。来年は東京オリンピックに、大勢の外国人が訪れることもあり、歩行者優先は喫緊の課題になっています。そこで、今回は横断歩道での一時停止について再考してみましょう。

1. 横断歩道で一時停止していますか？

Ⅰ 実際に横断歩道を観察する

信号のない横断歩道を、歩行者が渡ろうとしている時、実に90%以上のクルマが一時停止をしていないとの報告があります。(※1)

そこで、実際はどうか、ある横断歩道を観察してみました。観察した場所は、日頃から歩行者の通行量が多い横断歩道です。果たして、ドライバーは、歩行者を優先しているでしょうか。

※1 JAFWebサイト「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査 2018年」
<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/crosswalk/index.htm>(2019.8.19閲覧)



通行量が多い信号のない横断歩道

⇒結果は裏面へつづく

Ⅱ 主な欧米諸国では

イギリス、ドイツ、アメリカなどでは、歩行者優先ルールが徹底されていることから横断歩道に歩行者がいれば、ほぼ全てのクルマが止まると言われています。このようなこともあってか交通事故死者数に占める歩行者の割合は、日本の35.0%に対し、イギリス24.9%、ドイツ15.3%、アメリカ16.0%と大きな差異がみられます。(※2)

また、歩行者優先の慣習の違いから、東京オリンピックで、外国人歩行者が被害者となる交通事故が懸念されています。

※2 内閣府Webサイト「平成30年交通安全白書、参考-2 欧米諸国の交通事故発生状況(2016年)」
https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/h30kou_haku/pdf/zenbun/betten.pdf(2019.8.19閲覧)



2. 交通違反で危険な行為です！



一時停止しない商用車



一時停止しない乗用車

現場観察では、やはり多くのクルマが一時停止をしていませんでした。歩行者のいる横断歩道で一時停止をしないことは、マナーの問題ではなく、交通違反であり危険な行為です。

【道路交通法第38条より】

車両等は、横断歩道等に接近する場合には、横断しようとする歩行者等がないことが明らかな場合を除き、停止線の直前で停止できるような速度で進行しなければならない。又横断しようとする歩行者等があるときは、横断歩道等の直前で一時停止し、かつ、その通行を妨げないようにしなければならない。

3. 横断歩道では、一時停止する

歩行者優先は、歩行者を守るだけでなく、ドライバーが重大事故の加害者になることを防ぐ大事な行動規範です。以下の運転行動を徹底しましょう。

- ◎ 横断歩道を横断しようとしている歩行者等がいたら、横断歩道の直前で**一時停止**する。
- ◎ 横断歩道に接近している時、横断しようとしている歩行者等が明らかでない場合を除いては、停止線の直前で**停止できるような速度**で進行する。
- ◎ 前方に横断歩道を発見したら、あらかじめ**速度を落とす**。



バスはきっちり一時停止



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

SOMPO リスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1

ホームページ <https://www.sompo-rc.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を！
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同